

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

県内の新型コロナウイルス検査の陽性者数は、依然として多い状況が続いています。引き続き不織布マスクの正しい着用やこまめな手洗い、手指消毒といった基本的な感染予防対策を徹底しましょう。また、人が集まる場所では定期的な換気を励行しましょう。発熱や咳に限らず鼻水や喉の痛み、倦怠感など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人との接触を避け、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター (089-909-3483)」へ事前に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ⇨



発生動向の概況

※今回の報告期間は大型連休による医療機関の休診日を含んでいます。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第 16 週 5.3 人、第 17 週 5.6 人、第 18 週 3.9 人でした。また、第 16 週には**腸管出血性大腸菌感染症**が発生しています。感染予防のため、調理・食事の前、トイレの後は液体せっけん流水で十分に手を洗いましょう。気温が高くなり細菌の増えやすい時期を迎えますので、食肉を使った料理をする際には、肉の中心部まで十分に加熱 (75°C で 1 分間以上) し、加熱不十分な肉料理は食べないようにしましょう。

日本紅斑熱の届出が 1 例 (宇和島保健所管内在住) ありました。この疾患はマダニが媒介する感染症で、マダニの活動が活発となる春から秋にかけて患者が多くなる傾向があります。野山や畑、草むらなどに入る際は、肌が露出しない服装を心がけ、マダニに効果のある防虫スプレー (ディート含有) を使用するなどマダニに咬まれないよう十分注意しましょう。咬まれてしまった場合は、絶対にマダニを引き抜かず、そのままの状態での医療機関 (皮膚科等) を受診し、処置してもらいましょう。早期に適切な治療を受けることが極めて重要ですので、発熱、消化器症状、発疹などの症状が出たら、速やかに医療機関を受診しましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

- 二類感染症 : 結核 4 例
- 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例 (O15 : 40 歳代女性)
- 四類感染症 : 日本紅斑熱 1 例 (70 歳代男性)
マラリア 1 例 (熱帯熱マラリア、20 歳代女性、国外 (コンゴ民主共和国) で感染)
レジオネラ症 3 例 (70 歳代男性 2 例、80 歳代女性)
- 五類感染症 : 梅毒 2 例 (50 歳代男性、60 歳代男性 2022 年県内累計 40 例)
- 新型インフルエンザ等感染症 : 新型コロナウイルス感染症 4,802 例

*その他、梅毒の届出が第 15 週に 1 例、新型コロナウイルス感染症の届出が第 1 週に 2 例、第 2 週に 14 例、第 3 週に 8 例、第 4 週に 13 例、第 6 週に 1 例、第 8 週に 4 例、第 9 週に 45 例、第 10 週に 27 例、第 11 週に 5 例、第 12 週に 5 例、第 13 週に 5 例、第 14 週に 34 例、第 15 週に 17 例ありました。

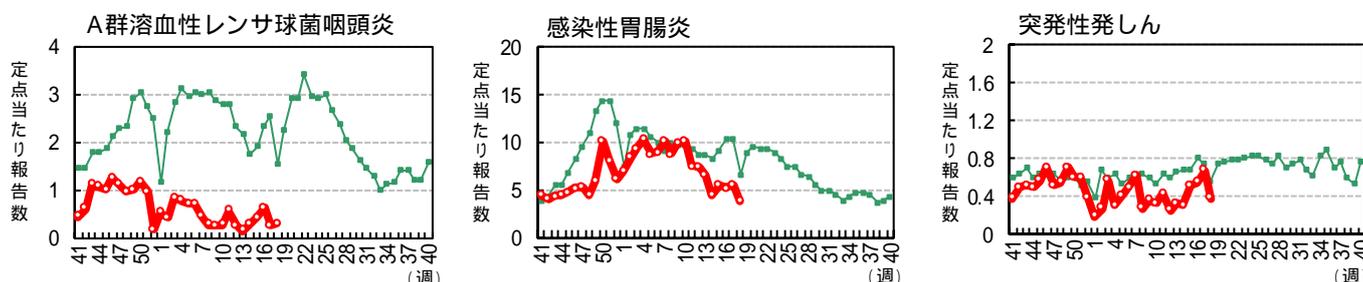
定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡ 0.3	横ばい。
感染性胃腸炎	↘ 3.9	減少。
突発性発しん	↘ 0.4	減少。

解析評価委員のコメントから

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : [東予] 少ないです。 [中予] あまり流行っていません。
[南予] 少数発生しており増加傾向です。
- 感染性胃腸炎 : [東予] やや減少しました。 [中予] 横ばいです。
[南予] 下がり止まりで相変わらず発生しています。
- 突発性発しん : [東予] 横ばいです。 [中予] やや減少しています。 [南予] 発生数が横ばいです。

過去 30 週の動向 (🔴 : 過去 30 週の動向、🟢 : 過去 10 年の平均)



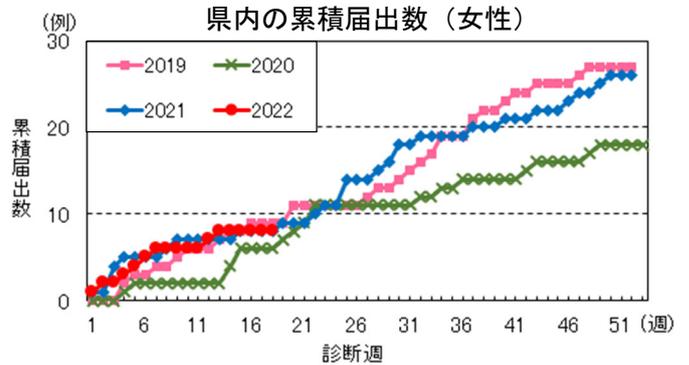
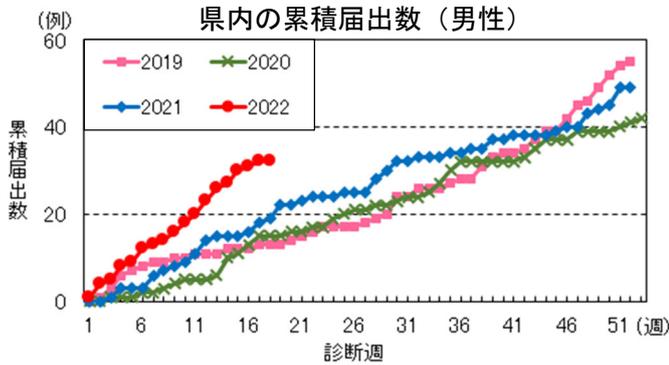
(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

- 梅毒が急増しています！ -

令和4年5月11日現在

県内では、第18週までに2021年同時期の1.5倍となる40例の届出がありました。性別内訳は男性32例、女性8例で、特に男性で顕著に急増しています。人口10万人あたりの届出数を比較すると、第17週時点で愛媛県は、東京都、広島県、大阪府に次いで全国4位となっています。

この疾患の病原体は梅毒トレポネーマで、主に性行為により感染します。感染早期には感染部位のしこりやリンパ節の腫れなどの症状がみられることがあります。その後一時的に軽快するため発見が遅れる場合があります。治療が遅れると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。早期発見のため、不安のある方は県内各保健所で実施している電話相談や無料匿名検査をご利用ください。梅毒に感染したと分かった場合は、周囲で感染の可能性のある方（パートナー等）にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。



都道府県別人口10万人あたり届出数*

2021年		
順位	都道府県	人口10万人あたり届出数(例)
1	東京都	17.53
2	高知県	13.73
3	大阪府	9.78
4	岡山県	8.47
5	宮崎県	8.32
⋮		
14	愛媛県	5.62

2022年(第17週まで)		
順位	都道府県	人口10万人あたり届出数(例)
1	東京都	7.07
2	広島県	4.21
3	大阪府	3.93
4	愛媛県	3.00
5	熊本県	2.82

*2020年国勢調査 10月1日現在人口を基に集計

病原体検出情報

令和4年5月10日現在

○ 第14週に松山市で採取された感染性胃腸炎患者検体からカンピロバクター（カンピロバクター・ジェジュニ（*C. jejuni*））が検出されました。Penner法による血清型はR群でした。

カンピロバクターは、動物、特に鶏の腸内に常在する菌で、生の食肉に付着していることが多く、感染すると下痢、腹痛、発熱、嘔吐等の胃腸炎症状を呈します。カンピロバクターの予防には、食肉を十分加熱すること、食肉を取り扱った調理器具等は使用後に洗浄、殺菌を行うこと等が重要です。

■ 過去5週 検出病原体

(2022年4月4日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
14	4/4~4/10	松山市	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1

■ 月別病原体検出結果

検体採取月		2021	2022					合計
検出病原体		12	1	2	3	4	5	
ウイルス	コクサッキーA6	2						2
	ノロ	2		1	2	1		6
	サポ				1			1
	アデノ37		1					1
ウイルス計		4	1	1	3	1		10
細菌	カンピロバクター					1		1
	A群溶レン菌	1						1
細菌計		1				1		2

■ 臨床診断別検出結果 (2022年3月以降採取検体)

検出病原体	感染性胃腸炎	合計
ノロ	3	3
サポ	1	1
ウイルス計	4	4
カンピロバクター	1	1
細菌計	1	1

注) 表中の検出数は5月10日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第17週 (2022.4.25 ~ 5.1)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 1週前 2週前 3週前 年齢別 0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 ⁵⁾ 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 ⁶⁾ 80-		
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎		3) 細菌性髄膜炎		4) マイコプラズマ肺炎			1) インフルエンザ(入院)	
	迅速検査A型	迅速検査B型														迅速検査A型	迅速検査B型	迅速検査A型	迅速検査B型	迅速検査A型	迅速検査B型		迅速検査A型	迅速検査B型
四国中央				1		19					2			-	-									四国中央
西条	1				1	39					2			1	1									西条
今治						44																		今治
松山市				4	2	69					6				2	-	-	-	-	-	-	-		松山市
中予					6	9					2													中予
八幡浜						19					6				7									八幡浜
宇和島						4					1													宇和島
愛媛県	1			3	5	9	203	4			25			1	10									愛媛県
1週前	1			11	3	23	192	2		5	20			2	7									1週前
2週前				13	2	15	204	3	1	1	19			2	4									2週前
3週前	1	1		16	3	11	166	3	1	1	11				2									3週前
年齢別				1			3				1													0
					1		10				9													1-4
				2	1		37	1			14				2									5-9
					2	2	36				1													10-14
							32																	15-19
					1		20								1									20-24
							11																	25-29
							10	1																30-34
							10							1										35-39
							6																	40-44
							5																	45-49
							17	2																50-54
							1								1									55-59
							5																	60-64
						1	5								1									65-69
																								70-
	1														3									

定点当たり報告数

四国中央		-	-	.3		6.3				.7			-	-										四国中央
西条	.1	-	-		.2	6.5	.3			.3			.2	1.0										西条
今治		-	-	.6		8.8				1.2														今治
松山市		-	-		.4	6.9				.6				1.0	-	-	-	-	-	-	-	-		松山市
中予		-	-		1.5	2.3				.5														中予
八幡浜		-	-			4.8	.3			1.5				7.0										八幡浜
宇和島		-	-			1.0	.3			.3														宇和島
愛媛県	.0	-	-	.1	.1	.3	5.6	.1		.7			.0	1.4										愛媛県

- 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 - 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 - 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 - オウム病を除く。
 - 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 - 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は5月6日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

注2) 今週は休診により2機関からの報告がなかったため、松山市保健所のインフルエンザ・小児科・眼科定点数は16・10・2となっています。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第16週 (2022.4.18 ~ 4.24)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点									
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)		
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)	
患者報告数																									
保健所別	四国中央	1					18				3				-	-									四国中央
	西条						28	1			1														西条
	今治				11	1	49	1		4	2					2									今治
	松山市					1	64				7					4	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
	中予						3				3														中予
	八幡浜						15				3					1									八幡浜
	宇和島					1	7				1														宇和島
週推移	愛媛県	1			11	3	23	192	2		5	20		2		7									愛媛県
	1週前				13	2	15	204	3	1	1	19		2		4									1週前
	2週前	1	1		16	3	11	166	3	1		11				2									2週前
	3週前				22	1	5	244	1	2	2	12		2		7									3週前
年齢別	0-5ヶ月				1						1														0
	6-11ヶ月					1		2			2	4													1-4
	1				7	2	3	34			3	12													5-9
	2				2		3	29				3													10-14
	3						6	25						1											15-19
	4				1			23																	20-24
	5						2	27																	25-29
	6						1	6																	30-34
	7						1	5	1																35-39
	8						1	6						1											40-44
	9							6	1																45-49
	10-14						5	17							1										50-54
	15-19						1	4																	55-59
	20-29 ⁵⁾	1						8							2										60-64
	30-39														1										65-69
	40-49														1										70-
	50-59														1										
	60-69														1										
	70-79 ⁶⁾														1										
	80-																								

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	-	-				6.0				1.0			-	-									四国中央	
	西条	.1	-	-			1.8	4.7	.2		.7	.2		.2		2.0									西条
	今治		-	-	2.2	.2		9.8	.2		.2	.4													今治
	松山市		-	-		.1	.7	6.4				.7		.1	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市	
	中予		-	-			.8	2.8				.8													中予
	八幡浜		-	-				3.8				.8			1.0									八幡浜	
	宇和島		-	-		.3	.5	1.8				.3													宇和島
	愛媛県	.0	-	-	.3	.1	.6	5.3	.1	.1	.6		.1		.9									愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 - 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 - 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 - 4) オウム病を除く。
 - 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 - 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は4月27日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。
 注2) 今週は休診により1機関からの報告がなかったため、松山市保健所のインフルエンザ・小児科定点数はそれぞれ16・10となっています。

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2022年4月

患者報告数		STD定点									基幹定点						
		性器クラミジア感染症			感性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症				メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
		総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性				
保健所別	四国中央												3				
	西条	2	1	1	12	11	1	1	1		1	1					
	今治	1	1		1	1		2	2		2	2					
	松山市	10		10	1		1	1		1	4	1	3	-	-	-	
保健所別	中予	1	1											2		1	
	八幡浜	2	2								1	1		1			
保健所別	宇和島	1	1					1	1								
	愛媛県	17	6	11	14	12	2	5	4	1	8	5	3	6		1	
月推移	1月前	15	3	12	14	10	4	5	2	3	17	11	6	8	1		
	2月前	15	2	13	11	9	2	4	2	2	11	10	1	9		1	
	3月前	13	2	11	13	11	2	4	2	2	8	7	1	6		1	
	0																
年齢別	1-4																
	5-9				1	1											
	10-14																
	15-19	1	1					1		1	1	1					
	20-24	7	2	5	1		1				2	1	1				
	25-29	3	1	2				2	2		2		2			1	
	30-34	2	1	1	1	1		1	1		2	2					
	35-39	3	1	2	1	1					1	1					
	40-44							1	1								
	45-49	1		1	2	2											
	50-54				2	2											
	55-59				1	1											
	60-64				1		1										
	65-69				1	1											
	70-				3	3								6			

定点当たり報告数

保健所別	四国中央													3.0			四国中央
	西条	1.0	.5	.5	6.0	5.5	.5	.5	.5		.5	.5					西条
	今治	1.0	1.0		1.0	1.0		2.0	2.0		2.0	2.0					今治
	松山市	2.5		2.5	.3		.3	.3		.3	1.0	.3	.8	-	-	-	松山市
保健所別	中予	1.0	1.0											2.0		1.0	中予
	八幡浜	2.0	2.0								1.0	1.0		1.0			八幡浜
保健所別	宇和島	1.0	1.0					1.0	1.0								宇和島
	愛媛県	1.5	.5	1.0	1.3	1.1	.2	.5	.4	.1	.7	.5	.3	1.0		0.2	愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は5月11日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2022年 第15、16、17週 (2022.4.11 ~ 5.1)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点									眼科定点		基幹定点						
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
15 週	愛媛県	.4	.1	.4	5.7	.1	.0	.0	.5		.1		.5						
	近県																		
	香川県		.1	.3	4.1	.1		.0	.4		.1								
	徳島県	.0		.7	1.7	.1			.3										
	高知県		.3	.1	3.3	.2			.5										
	全 国	.0	.1	.2	3.5	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	.0	.0
	北海道		.2	.1	5	1.7	.1	.0	.1		.0		.0						
	東北		.1	.1	2	3.5	.1	.0	.4		.0		.2			.0	.1		
	関東		.0	.0	.1	3.8	.1	.1	.3	.0	.0		.2				.0	.0	
	甲信越北陸		.0	.3	.1	4	3.9	.1	.2	.0	.0		.1	.0		.0			
	東海		.2	.1	.2	2.8	.0	.0	.3	.0	.0		.0		.0				
	近畿		.0	.1	.1	2	2.6	.1	.0	.0	.0		.1		.0	.0			.0
	中国四国		.2	.1	.4	4.1	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.2						.0
	九州沖縄		.3	.1	.3	4.8	.1	.2	.0	.5	.0	.0	.2						.0

(4.20集計)

16 週	愛媛県	.0	.3	.1	.6	5.3	.1		.1	.6		.1		.9					
	近県																		
	香川県			.2	.2	3.9	.1		.4		.1								
	徳島県					3.3	.0		.2					.1					
	高知県			.3	.2	2.4	.1	.1	.2										
	全 国	.0	.1	.1	.3	4.1	.1	.1	.0	.4	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0	.0	.0
	北海道		.0	.2	.2	5	2.2	.1	.0	.1		.0	.1					.0	
	東北		.0	.1	.3	4.0	.1	.0	.5	.0	.0		.0					.0	
	関東		.0	.0	.1	2	4.4	.1	.1	.0	.0		.2			.0	.0		
	甲信越北陸		.0	.2	.1	5	4.5	.1	.3	.0	.0		.1	.0	.0				
	東海		.0	.3	.1	2	3.5	.1	.1	.0	.0		.1					.0	
	近畿		.0	.1	.1	2	2.9	.0	.0	.0	.0		.1	.0	.0	.0	.0	.0	.0
	中国四国		.0	.2	.1	4	4.5	.1	.1	.0	.4	.0	.1	.2	.0				
	九州沖縄		.0	.2	.2	5	5.6	.1	.3	.0	.5	.0	.2	.0	.0	.0			

(4.27集計)

17 週	愛媛県	.0	.1	.1	.3	5.6	.1		.7		.0		1.4						
	近県																		
	香川県		.0	.0	.0	3.1	.0	.0	.5	.0	.1								
	徳島県		.0	.0	.1	2.8	.0		.3	.1	.1								
	高知県		.0	.3	.2	2.6	.0	.1	.0	.3				.1				.1	
	全 国	.0	.1	.1	.2	3.7	.1	.1	.0	.4	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	.0	.0
	北海道		.2	.1	.3	2.2	.0	.0	.2		.0		.0						
	東北		.0	.1	.1	3	3.7	.1	.0	.4	.0	.0	.1					.0	
	関東		.0	.1	.1	1	3.7	.1	.1	.0	.4	.0	.2	.0	.0	.0			
	甲信越北陸		.0	.1	.1	3	4.2	.1	.3	.0	.3	.0	.1		.1			.0	
	東海		.4	.1	.2	3.1	.0	.1	.0	.3	.0	.0	.1		.0	.1			
	近畿		.1	.2	.2	3.0	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.1		.0	.0		.0	
	中国四国		.0	.1	.2	4.1	.1	.2	.0	.4	.0	.0	.2	.0				.0	
	九州沖縄		.0	.2	.2	4	5.0	.1	.4	.0	.6	.0	.3	.0				.0	

(5.6集計)

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

